

# enplas

平成24年3月期(第51期) 報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

株式会社 **エンプラス**

(証券コード：6961)



## エンプラス企業理念

Enplas Corporate Philosophy

### わが社の使命

信頼の絆をもとに、あらゆる変化に対応する強靱な経営基盤を堅持し、

1. お客さまに感謝される製品とサービスを提供します。
2. 能力と成果を公正に評価し、社員の生きがいを育みます。
3. 株主の皆さまの期待に応え、企業価値の向上を目指します。

これらの実践を通して豊かな社会の発展に貢献します。

### 事業領域

エンジニアリングプラスチックで培った先進技術をもとに、さらに最先端技術を追求し、

創造的価値を世界市場に提供します。

### 経営姿勢

1. 卓越した技術と信頼される製品により、競争力と成長力を追求します。
2. 健全な財務体質により着実な発展を図ります。
3. 全ての企業活動において確かな品質に責任を持ちます。

### 行動指針

1. 創造的な目標を掲げ、情熱を持って挑戦します。
2. 感謝の心と学ぶ姿勢を大切にします。
3. 公私を明確にし、公明正大に行動します。

#### 目次

エンプラス企業理念	1	連結財務諸表	7
株主の皆様へ	2	会社概要・株式情報	9
事業の概況	3	事業所・グループ会社紹介	10
部門別概況	5		



おかげさまで2012年2月に創立50周年を迎えました。  
今後とも宜しくお願いいたします。

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

世界経済は、欧州の債務問題に端を発した世界的な金融不安、さらにその金融不安を背景とした急激な円高の進行、タイの洪水被害によるサプライチェーンへの甚大な被害など厳しい1年となりましたが、引き続き変化の激しい経営環境は継続しているものと認識しております。当社を取り巻く事業環境におきましても、昨年3月の東日本大震災の発生及びその後の電力供給不足、タイ生産子会社の洪水被害等当社の経営にも少なからず影響を及ぼしました。

このような状況の中、当社ではLED-TV関連製品の市場開拓、タイ洪水被害後3カ月での垂直的な新工場立ち上げ、インドネシア現地法人設立と新工場立ち上げ、上海での金型・成形新工場の稼働開始、そして国内生産子会社である株式会社エンプラス精機を清算して鹿沼工場へ集約するなど矢継ぎ早に成長戦略、効率化戦略を行ってまいりました。今期は、「強靱な経営基盤の確立」という経営姿勢のもと「事業基盤の強化」、「財務基盤の強化」を経営基本方針として掲げ、事業運営を行ってまいります。

当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針としております。また、安定的配当の考え方も取り入れ、当期以降の業績予想を勘案して配当の決定を行っております。

当期の配当につきましては、中間配当として1株当たり7円50銭を実施いたしました。当期は当社創立50周年の節目であることから、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するため、期末配当として1株当たり普通配当7円50銭に創立50周年記念配当10円を加えた17円50銭とし、通期では25円とさせていただきます。

1962年の創業以来、当社はエンジニアリングプラスチックにおける産業のパイオニアとして、精密加工技術をコアにしたモノづくりに尽力し、世界市場のニーズにお応えする高付加価値製品を提供してまいりました。

創立50周年を機に、改めて「豊かな社会の発展に貢献する」という企業理念に込められた想いを振り返るとともに、新たな価値創造に向けて挑戦し続けていくことを決意いたします。

引き続き、お客さまに信頼されるサービスや価値をご提供するために、社員一同が高い志と強い一体感を持って、皆様からのご信頼とご期待にお応えしてまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 横田大輔

## 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災及びその後の電力供給不足、欧州財政危機に伴う新興国での経済成長の鈍化、超円高の進行、さらにはタイの洪水被害によるサプライチェーンの寸断というかつてない厳しい1年となりました。2012年に入ってからは、震災からの急速な復旧に加え、円高圧力の緩和、米国の各種経済指標の改善という外部要因もあり、企業活動に明るい兆しも見え始めております。

当社グループが関連する電子部品業界におきましても、震災、洪水、円高の直接、間接の影響を大きく受けたものの、各社の不断の復旧努力により生産の正常化が進んでおります。

このような経営環境の中、当社グループは、創立50周年を迎え、「豊かな社会の発展に貢献する」という使命のもと「圧倒的な競争力による事業成長」、「3N（技術・市場・用途）戦略による新事業創出」を経営基本方針とし、他社の追随を許さない高精度、高機能部品のマーケットへの提供、将来の成長のための新事業の創出に取り組んでまいりました。タイにおける当社生産子会社が洪水による浸水被害を受けましたが、顧客への製品供給を最優先し、浸水直後にチョンブリ県ピントン工業

団地に新規工場を立ち上げ、12月には量産開始、3月までには洪水前の生産水準を確保することができました。

この結果、当連結会計年度の売上高は20,723百万円（前期比1.2%減）となり、営業利益は1,147百万円（前期比13.5%減）、経常利益は1,258百万円（前期比1.4%増）となりました。また、前述のタイ生産子会社の洪水被害に伴う固定資産及びたな卸資産の除却損失等と損害保険会社からの保険金の受け取りをそれぞれ特別損失、特別利益として計上、さらには当社川口事業所の一部解体撤去に伴う減損損失等を特別損失として計上したことにより、当期純利益は963百万円（前期比214.4%増）となりました。

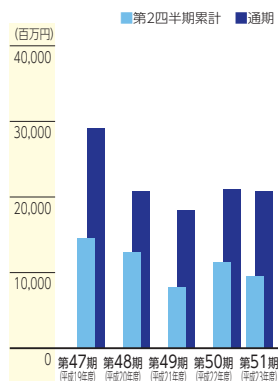
### 第51期経営基本方針

1. 圧倒的な競争力による事業成長
2. 3N（技術・市場・用途）戦略による新事業創出

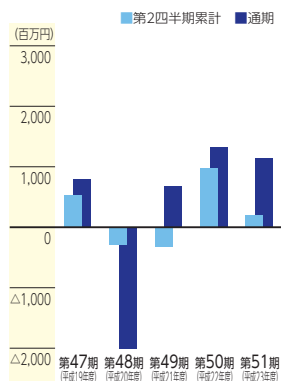
## 連結業績の推移

	第47期		第48期		第49期		第50期		第51期	
	中間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	通期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	通期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	通期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	通期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	中間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	通期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高 (百万円)	14,498	29,112	12,643	20,796	8,022	18,221	11,338	20,984	9,556	20,723
営業利益(△損失) (百万円)	522	796	△ 294	△ 2,008	△ 324	683	975	1,325	193	1,147
経常利益(△損失) (百万円)	542	763	△ 106	△ 1,721	△ 327	654	912	1,241	191	1,258
当期純利益(△純損失) (百万円)	△ 1,221	△ 1,164	△ 1,094	△ 7,188	△ 440	256	289	306	△ 223	963
普通株式： 1株当り当期純利益(△純損失) (円)	△ 63.95	△ 62.82	△ 64.47	△ 435.52	△ 28.57	16.71	18.89	20.00	△ 14.75	65.77
総資産 (百万円)	46,516	42,863	40,358	32,500	30,782	32,312	31,704	31,361	31,571	31,309
純資産 (百万円)	40,985	38,351	36,558	28,521	27,440	28,546	27,957	27,930	25,689	26,832
普通株式： 1株当り純資産 (円)	2,197.63	2,200.09	2,166.22	1,832.50	1,778.23	1,845.21	1,815.86	1,810.91	1,759.52	1,887.43
1株当り配当金 (円)	5.00	10.00	5.00	10.00	5.00	12.50	7.50	15.00	7.50	25.00

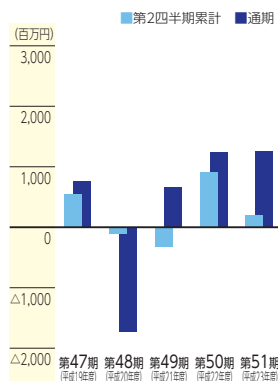
■売上高



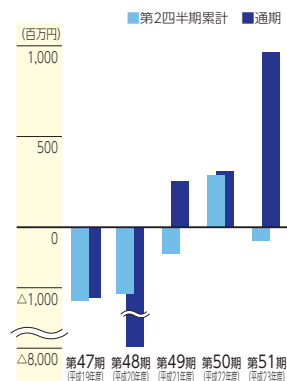
■営業利益(△損失)



■経常利益(△損失)



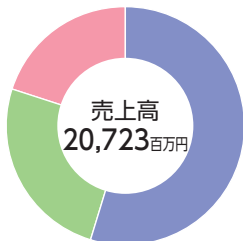
■当期純利益(△純損失)



### 連結製品群別売上構成

**第51期**

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

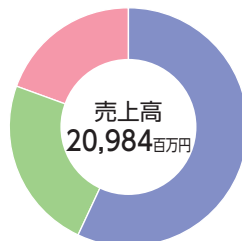


- エンプラ事業 11,350百万円 (54.8%)
- 半導体機器事業 5,258百万円 (25.4%)
- オプト事業 4,114百万円 (19.8%)  
(旧LED関連事業含む)

### 連結製品群別売上構成

**第50期**

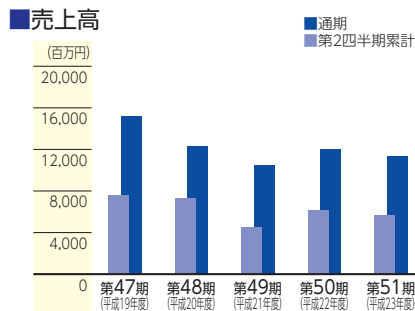
(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)



- エンプラ事業 11,997百万円 (57.2%)
- 半導体機器事業 4,928百万円 (23.5%)
- オプト事業 4,058百万円 (19.3%)  
(旧LED関連事業含む)

## エンプラ事業

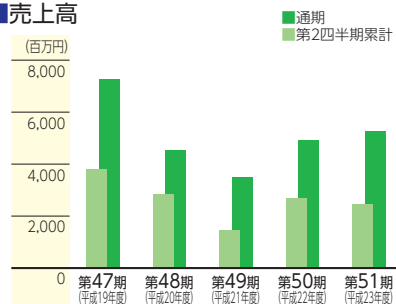
成長するアジア、中国市場での積極受注、国内工場の統合、海外新規工場の立ち上げによる生産体制の強化を行ってまいりましたが、東日本大震災、タイ洪水被害の影響もあり、当連結会計年度の売上高は11,350百万円（前期比5.4%減）、セグメント営業利益は98百万円（前期比84.9%減）となりました。



## 半導体機器事業

グローバル顧客サポート体制の強化、ロジックテスト分野の拡大、独自加工技術の研究開発、海外調達の加速によるコスト競争力強化を推進した結果、当連結会計年度の売上高は5,258百万円（前期比6.7%増）、セグメント営業利益は496百万円（前期比20.0%減）となりました。

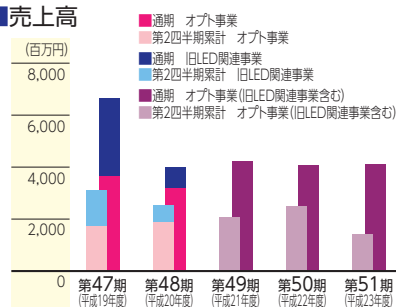
### ■売上高



## オプト事業（旧LED関連事業含む）

価格競争の激化、顧客の生産調整による売上減少がありました。LED用拡散レンズの受注拡大により、当連結会計年度の売上高は4,114百万円（前期比1.4%増）、セグメント営業利益は552百万円（前期比878.7%増）となりました。

### ■売上高





# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	20,259,205	20,529,001
固定資産	11,050,186	10,832,379
有形固定資産	9,565,391	8,699,819
無形固定資産	681,911	897,336
投資その他の資産	802,883	1,235,222
資産合計	31,309,391	31,361,381
(負債の部)		
流動負債	2,883,524	2,389,259
固定負債	1,593,048	1,042,026
負債合計	4,476,572	3,431,285
(純資産の部)		
株主資本	28,257,400	29,359,710
その他の包括利益累計額	△ 1,697,526	△ 1,613,319
新株予約権	253,023	165,221
少数株主持分	19,921	18,483
純資産合計	26,832,818	27,930,095
負債及び純資産合計	31,309,391	31,361,381

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
売上高	20,723,236	20,984,353
売上原価	13,401,531	13,231,238
売上総利益	7,321,705	7,753,114
販売費及び一般管理費	6,174,612	6,427,716
営業利益	1,147,093	1,325,398
営業外収益	175,336	125,710
営業外費用	64,105	210,028
経常利益	1,258,323	1,241,079
特別利益	859,760	135,298
特別損失	843,066	658,266
税金等調整前当期純利益	1,275,018	718,112
法人税、住民税及び事業税	247,487	521,952
法人税等調整額	61,621	△ 132,819
少数株主損益調整前当期純利益	965,908	328,979
少数株主利益	2,592	22,537
当期純利益	963,316	306,441



## ■連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

		当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
株主資本	資本金		
	当期首残高	8,080,454	8,080,454
	当期末残高	8,080,454	8,080,454
	資本剰余金		
	当期首残高	10,021,143	10,021,143
	当期末残高	10,021,143	10,021,143
	利益剰余金		
	当期首残高	18,223,145	18,146,534
	剰余金の配当	△ 223,450	△ 229,830
	当期純利益	963,316	306,441
当期変動額合計	739,866	76,611	
当期末残高	18,963,011	18,223,145	
自己株式	当期首残高	△ 6,965,033	△ 6,964,665
	自己株式の取得	△ 1,842,175	△ 367
	当期変動額合計	△ 1,842,175	△ 367
	当期末残高	△ 8,807,209	△ 6,965,033
株主資本 合計	当期首残高	29,359,710	29,283,466
	剰余金の配当	△ 223,450	△ 229,830
	当期純利益	963,316	306,441
	自己株式の取得	△ 1,842,175	△ 367
	当期変動額合計	△ 1,102,309	76,243
	当期末残高	28,257,400	29,359,710
	その他の 有価証券 評価差額金		
当期首残高	69,049	197,067	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 40,128	△ 128,018	
当期変動額合計	△ 40,128	△ 128,018	
当期末残高	28,920	69,049	
その他の 包括利益 累計額	為替換算 調整勘定		
	当期首残高	△ 1,682,368	△ 1,208,126
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 44,078	△ 474,241
	当期変動額合計	△ 44,078	△ 474,241
	当期末残高	△ 1,726,447	△ 1,682,368
	その他の 包括利益 累計額合計		
	当期首残高	△ 1,613,319	△ 1,011,059
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 84,206	△ 602,260	
当期変動額合計	△ 84,206	△ 602,260	
当期末残高	△ 1,697,526	△ 1,613,319	

(単位：千円)

		当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
新株予約権	当期首残高	165,221	72,055
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	87,801	93,166
	当期変動額合計	87,801	93,166
当期末残高	253,023	165,221	
少数株主持分	当期首残高	18,483	201,640
	連結子会社出資金の取得による持分の増減	-	△ 188,245
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,438	5,088
	当期変動額合計	1,438	△ 183,156
当期末残高	19,921	18,483	
純資産 合計	当期首残高	27,930,095	28,546,102
	剰余金の配当	△ 223,450	△ 229,830
	当期純利益	963,316	306,441
	自己株式の取得	△ 1,842,175	△ 367
	連結子会社出資金の取得による持分の増減	-	△ 188,245
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,033	△ 504,006
	当期変動額合計	△ 1,097,276	△ 616,007
当期末残高	26,832,818	27,930,095	

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,067,537	2,409,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,127,069	△ 1,134,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,165,582	△ 237,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 23,916	△ 207,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,249,030	829,668
現金及び現金同等物期首残高	12,849,331	12,019,663
現金及び現金同等物期末残高	11,600,300	12,849,331

## 会社概要

商号	株式会社エンプラス
所在地	埼玉県川口市並木二丁目三十番一号
設立	1962年2月21日
資本金	80億8,045万円

## 役員

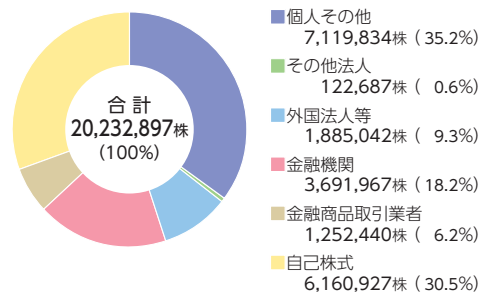
代表取締役社長	横田 大 輔
取締役	酒井 崇
取締役	菅原 昇
取締役	菊地 豊
取締役	丸山 良次
取締役	田宮 義男
取締役	長谷川 一郎
常勤監査役	手嶋 晴 幾
監査役	檀原 武
監査役	落合 栄

## 株式情報

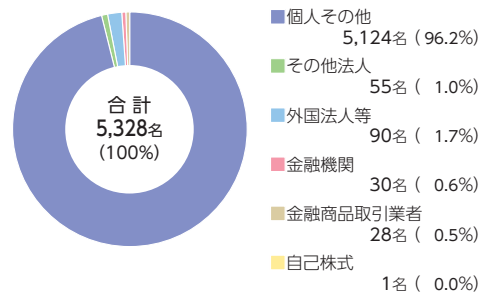
発行可能株式総数	62,400,000株
発行済株式総数	20,232,897株
株主数	5,328名

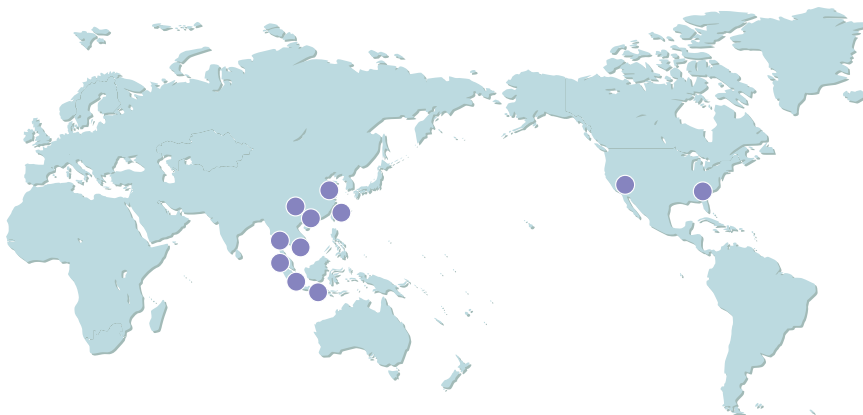
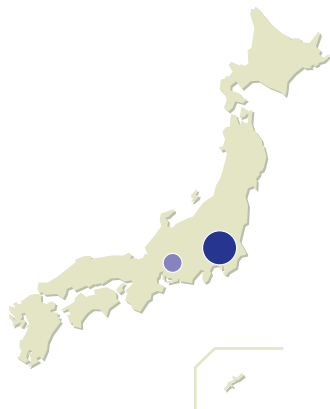
### 所有者別株式分布状況

#### 所有者別株式数



#### 所有者別株主数





## 事業所

### 本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号

### 川口事業所

埼玉県川口市弥平2丁目20番10号

### 鹿沼工場

栃木県鹿沼市さつき町7番2

### 名古屋営業所

愛知県名古屋市中村区名駅2丁目45番7号 松岡ビル3階

## 国内グループ会社

### QMS株式会社

埼玉県川口市上青木1丁目3番12号

### 株式会社エンプラス半導体機器

埼玉県川口市上青木1丁目19番57号

### 株式会社エンプラス ディスプレイ デバイス

埼玉県川口市並木2丁目30番1号

(平成24年4月2日に設立を致しました。)

## 海外グループ会社

### Enplas (U.S.A.), Inc.

1901 West Oak Circle, Marietta, Georgia 30062, U.S.A.

### Enplas Tech Solutions, Inc.

1225 Innsbruck Dr., Sunnyvale, CA 94089-1317, U.S.A.

### Enplas Hi-Tech (Singapore) Pte. Ltd.

No. 28 Genting Lane, #07-03/04/05, Singapore 349585, Republic of Singapore

### Enplas Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

No.9&9A Jalan Hasil 2, Kawasan Perindustrian, Jalan Hasil 81200 Johor Bahru, Malaysia

### Enplas Precision (Thailand) Co., Ltd.

Hi-Tech Industrial Estate 104 Moo 1, Bhan Lain, Bang Pa-In, Ayutthaya 13160, Thailand

### Pinthong Factory (Thailand)

Pinthong Industrial Estate 2 150/30 Moo 9, Tambol Nongkham, Amphur Sriracha, Chonburi 20110, Thailand

### Enplas (Vietnam) Co., Ltd.

K-3 Plot, Thang Long Industrial Park, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam

### Enplas Electronics (Shanghai) Co., Ltd.

Standard Building 85, No177, Yi Wei Road, Shanghai Waigaoqiao Free Trade Zone, Shanghai 200131, PRC

### Guangzhou Enplas Mechatronics Co., Ltd.

Floor 1, Standard Building 1, Hexing Industry Park, 10 Yongsheng Road, Yong He Economic Zone, Guangzhou Economic & Technological Development District, Guangzhou City 511356, P.R.C.

### Enplas Niching Technology Corporation

4F-1, No.27 Puding Road, Hsinchu City, 300 Taiwan, R.O.C.

### Enplas (Hong Kong) Limited

Suite 515, 5/F World Commerce Centre, Harbour City, 11 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

### PT.Enplas Indonesia

kawasan Industri Jababeka Tahap 3 Jl. Tekno Boulevard Blok 6 F Desapasirgombong, Kec. Cikarang Utara, Bekasi 17550, Indonesia

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社本店および 全国各支店で行っております。
郵便物送付先、連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター (お問い合わせ先) ☎0120-49-7009
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.enplas.com">http://www.enplas.com</a> ) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済 新聞に掲載する方法とします。 貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET ( <a href="http://info.edinet-fsa.go.jp/">http://info.edinet-fsa.go.jp/</a> )にて開示しております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

### ■住所変更・単元未満株式の買取等のお申し出について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

### ■未支払配当金のお支払について

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

## 株式会社 エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木二丁目30番1号  
Tel : 048-253-3131 (代表)  
Fax : 048-255-1688  
<http://www.enplas.com>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

